

きもの豆知識

和装のバッグについて

着物の着用シーンは様々。着物の場合はいろいろとルールがあって、バッグ選びも難しそう。そんないろいろなシーンでどんなバッグが最適なのか見てみましょう。

礼装シーン

結婚式

一昔前は草履とセットのバッグが主流でしたが、最近では実用的な大き目のバッグが使いやすく人気があるようです。形や大きさの決まりはありませんが、佐賀錦や名物裂などの柄を選べば、どのようなシーンにも心配なく持てそうです。



結婚式では意外と荷物が多いので大き目のバッグは実用的で便利です。

パーティー

パーティー用のバッグに決まりはありませんが、儀礼的に着用するシーンと違って、パーティなどはファッション意識の高い方も多く、他人からの視線が気になる場所。バッグもただ実用的なだけでなくファッション性の高い華やかなものがおすすめです。

お茶会

お茶会では、四角い待ちの付いた利休バッグが一般的ですが、時代とともに実用的なものにシフトしてきているようです。自分だけで判断せず先生のアドバイスを頂くのが失敗しないコツです。



お茶の世界では定番の利休バッグ。

おしゃれ着シーン

観劇・食事会

基本的にはなんでもOK。とはいえあまりバランスの悪いコーディネートはNG。着物の格にあったバッグ選びがセンスの見せ所です。和装用だけでなく洋装用のバッグとコーディネートできるので、幅広い遊び心が試されます。

歌舞伎のススメ

～仮名手本忠臣蔵（かなでほんちゆうしんぐら）～

毎年この時期に外せない歌舞伎の演目といえば『仮名手本忠臣蔵（かなでほんちゆうしんぐら）』。

一般的には『忠臣蔵（ちゆうしんぐら）』の方が有名ですね。12月14日は討ち入りの日でわが町吉良町ではあまり縁起のいい日ではありませんが・・・。

もともと歌舞伎はワイドショー的な役割もあったようで、このお話も討ち入り後すぐに上演されたようですが、幕府批判にも通じるとして実名での上演は禁止されました。そのため、実の赤穂事件を『太平記』の時代に移して、登場人物の名前も変えて作られているということは以前にも触れたことがあります。

このお話の一番の見どころは大序と呼ばれる最初の段の人形浄瑠璃をルーツとする演出で、人形が演じる形を残しているため、天王立（てんのうだち）という太鼓や能管、囃子などの鳴物で幕を開ける荘重な場面であり、『とざい、とーざい』という東西声で幕を開けた後も、登場人物たちは人形身と称して下を向いて瞳を開かず、演技をしないで、竹本に役名を呼ばれてはじめて「人形に魂が入ったように」顔を上げ、役を勤めはじめます。この演出が歌舞伎の演目として絶えることなく伝承され、今日にまで上演され続けてきた「大序」は、『仮名手本忠臣蔵』が唯一といってよいそうです。



『TAKEJIRO CAFE』

カフェ開催期間

12月22日（木）～26日（月）

1月19日（木）～23日（月）

開催期間以外は営業しておりませんのでお間違えの無いように！

11月23日にオープンした『TAKEJIRO CAFE』に多くの方にお越しいただきありがとうございました。まさか、かわちがカフェをやるなんて思っても見えない方も多かったのではないのでしょうか。自分自身が一番そんな感想を持っています。

より気軽にご来店頂きたいというコンセプトのもと作ったカフェですので、毎月1週間だけのこのカフェを交流の場として楽しんでいただければ幸いです。また、皆様を満足させられるようなメニューや企画も考えていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



コーヒー 500円

カプチーノ 600円

抹茶ラテ 600円

抹茶セット 700円

珈琲セット 700円

草木染講習会

日時 1月25日（水）

午前の部 9:30～午後の部 13:00～

会費 1,000円（1回につき）+材料費

用意するもの：厚手のゴム手袋、エプロン

玉ねぎの皮で風呂敷を作ろう！



身近な染料玉ねぎの皮で綿の風呂敷を染めます。板締め技法で幾何学的な模様を染め上げます。

年末年始の営業日

年末は31日まで営業

元旦、2日、3日はお休みいたします。

イベント案内

ギャラリーカフェ

竹次郎 TAKEJIRO CAFE

12月22日（木）～26日（月）

バッグを特集します。